

2020 年度

公益財団法人東京子ども図書館

# 年次報告

〒165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10

2021 年 7 月発行

Tel. 03-3565-7711 Fax. 03-3565-7712 URL <https://www.tcl.or.jp>

## 図書館の基礎体力

理事長 張替恵子



OPAC 画面とバナー

子どもたちにお話を語り、ともに本を読む日常から遠ざかって1年余り。私たちの仕事は、人流と接触と密によって成り立っていることを思い知らされる日々が続いています。同じ場所に集い、心置きなくことばを交わすことができないなか、事業を継続するため知恵を絞り工夫をこらしましたが、財政的には例年以上に厳しい状況となり、緊急のご寄付のお願いをさせていただきました。これに対し、いつにも増して広い層からご支援金が寄せられ、おかげさまで、収支決算を黒字でしめくることができました。心より感謝申し上げます。みなさまのお志に身も心も温まり、滞り気味の血が体中に巡りだすような力をいただきました。

新たに試みた Zoom による講演・講座や Instagram 等の情報発信に比べると印象は薄いかもしれませんが、OPAC（オンライン蔵書目録）の公開も大きな前進でした。当館では、蔵書の検索手段に長らくカード目録を使用してきました。ネットの普及に合わせて、館外からも引ける OPAC の構築が懸案でしたが、資金や人手不足からなかなか実現しませんでした。ところが、元都立図書館員を中心とした専門家の方々がボランティアで緻密な作業を進めてくださり、昨秋、第1期公開へとこぎつけることができたのです。全公開にはまだ少しかかるかもしれませんが、これにより役立つ図書館としての基礎体力がぐんとアップするでしょう。

近著『アーカイブの思想——言葉を知に変える仕組み<sup>\*</sup>』で、根本彰さんは、知の蓄積から新たな知が生み出されるというアーカイブの概念を、古代ギリシアからの西洋思想の流れに沿って丁寧にたどり、日本の近代化においてその概念を軽視したことが図書館の有用性が認識されなかった原因ではないかと述べています。「分類法と主題」の項では、分類により書架の位置が固定されることを補う方法として件名標目（統制されたキーワード）にも触れています。当館が独自の件名索引に力を注いだのも、図書館現場で頼れる件名目録が乏しかったからです。その集大成といえる「児童図書館基本蔵書目録」の第3巻『知識の海へ』の編纂が、いよいよ終盤を迎えました。構想から17年、オデュッセウスよりも長い航海から無事に入港することを目ざして、Zoom を駆使しながらの作業が続いています。

\*みすず書房 2021年1月



## 一年のあゆみ

## I 概況

**L**はライブ配信の催しです。

### 4月

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童室・資料室・かつら文庫臨時休館（3/27～6/30）
- ・Instagram 開始（8日）
- ・機関誌「こどもとしゃかん」刊行（20日、7/20、10/20、1/20）

### 6月

- ・『ティッキ・ピッキ・ブン・ブン』刊行（27日）

### 7月

- ・児童室・資料室 短縮時間で再開（1日）
- ・かつら文庫再開（4日）

### 8月

- ・ブックトーク・ワークショップ2020（19日、20日）**L**
- ・ブックトーク祭り（21日、22日）**L**

### 9月

- ・第22期子どもの図書館講座（12日、2/13）**L**
- ・おとなのためのお話会（19日、11/21）
- ・練馬区立豊玉第二小学校でお話（30日）

### 10月

- ・短期お話の講習会・初級コース（8日、11/26）
- ・池田正孝氏S&T「ハイジ」（9日）**L**
- ・学習院初等科でお話（23日）
- ・ブックトークカフェ・なないろ（31日、1/30）**L**

### 11月

- ・資料室オンライン蔵書目録公開開始（6日）
- ・オンラインバザー「きよきよ工房2020秋」（12日～25日）
- ・中野区立江原小学校でお話（17日、19日、27日）

### 12月

- ・児童室クリスマスお話会（1日～23日）
- ・豊明幼稚園でお話（2日）
- ・読書会『“グリムおばさん”とよばれて』（10日、1/23）**L**
- ・オンライン寄付サイト開設（11日～1/30）
- ・白金保育園でお話（18日、1/15、2/17、3/9）
- ・赤坂保育園でお話（25日、1/15）

### 1月

- ・児童室・資料室・かつら文庫 開館日時削減、見学中止（8日～3/31）
- ・練馬区立豊玉東小学校でお話（26日）
- ・『昔話と子どもの空想』刊行（29日）

### 2月

- ・梶原由佳氏講演会『『赤毛のアン』の本棚』（28日）**L**

### 3月

- ・吉原高志氏講演会『『少年の魔法の角笛』からグリム童話へ』（13日）**L**
- ・一般寄付のクレジットカード決済導入（25日）
- ・賛助会員の集い（27日）**L**

新型コロナウイルスに揺さぶられた1年。その影響が各所に生じました。3月末から6月までは全面休館、7月からは制限を設けつつ開館を再開しました。職員は、4/18～5/6は全員が在宅勤務、その後は時短の交代制をとりました。

このような状況の中、インターネットを使用した新たな企画を進めることができたのは、大きな収穫でした。

昨年度末に始めたYouTube「おはなし配信」に続き、子育て世代がユーザーに多いInstagramもスタートしました。

予定していた多くの講演・講座や講師派遣は、中止または延期となりましたが、インターネットサービスZoomを使い、「ブックトーク・ワークショップ2020」ほか、講演会や読書会等を多数開催しました。おかげさまで、累計879名の方が全国各地からご参加くださり、皆さまとともに充実した時間を過ごすことができました。

また、念願だったオンライン蔵書目録を11月より一部公開。資料室の和書（研究書・昔話集・児童書）、日本の児童図書賞受賞作の検索が可能となりました。これは元都立図書館司書の方々のご協力と、公益財団法人図書館振興財団からの助成を得て実現したものです。

出版部門では、『ティッキ・ピッキ・ブン・ブン』（愛蔵版おはなしのろうそく11）、『昔話と子どもの空想』（TCLブックレット）を刊行。『知識の海へ』（児童図書館基本蔵書目録3）の編集作業も、Zoomでの話し合いを交えつつ2021年度内刊行をめざして進めています。

一方、児童室やかつら文庫での子どもへの直接サービスは感染予防策を徹底しながら、短い滞在時間で本の貸し借りができるような仕掛けを工夫しました。お話の講習会やお話会はオンラインでの代替が難しく、感染状況が好転した時期のみ人数を抑えた来館形式で実施しました。

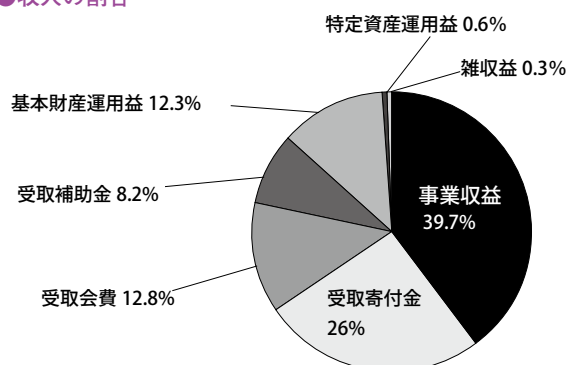
資金開拓の面でも新しい展開がありました。来場型のバザーの代わりに、松岡享子名誉理事長や職員の手作り品のカタログ販売とオンライン販売を開催、例年に近い収益を上げることができました。

大幅な財政逼迫に直面した年末には、期間限定の寄付サイトを設置。その後、新たにクレジットカード決済のサイトをご利用いただけるようにしました。皆さまからたくさんのご支援金をお寄せいただいたことで、奇跡的に黒字に転じ、年度を終えることができました。

昨年度末は実施を見送った賛助会員の集いは、この1年で習得した技術を駆使してZoomで開催、各地の参加者と交流することができました。

### Ⅲ 財務状況について

#### ●収入の割合



#### 当館の財務状況、ご支援のお礼

コロナ禍の影響により、大幅な赤字が見込まれたため、「今こそ、お話のたのしさ、本の豊かさを子どもたちに！ 年末年始ご寄付のお願い」と称してオンライン寄付サイトを開設（12/11～1/30）、機関誌168・冬号でも緊急のご寄付を呼びかけました。告知直後から2月までに、幅広い方々から1,600万円を越す多くの支援金が寄せられました。

また、コロナ禍での出版界の好況を反映し、石井桃子さんの本の増刷により印税収入が増加、当館刊行物の売れ行きも年度末に向けて上向いたことなどにより、おかげさまで決算は黒字に転じることができました。心より感謝申し上げます。予定していた館内補修工事も2021年度早々に実施することができました。

この先も長引くと思われる事態の中、館としても安定した運営をめざし、力を尽くしていきたいと思っておりますので、今後も、引き続きお力添えをいただけますよう、お願いいたします。

# 財務諸表

## 貸借対照表 令和3年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額
<b>I 資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金預金	67,945,605
売掛債権	3,913,713
販売用図書	22,988,310
販売用機関誌	2,008,734
<b>流動資産合計</b>	<b>96,856,362</b>
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土地	361,224,400
建物	194,931,989
著作権	39,253,978
定期預金	40,000,000
<b>基本財産合計</b>	<b>635,410,367</b>
(2) 特定資産	
プロジェクト積立資産	4,917,782
公益事業運営積立資産	64,128,259
<b>特定資産合計</b>	<b>69,046,041</b>
(3) その他固定資産	
構築物	115,777
什器備品	1,473,324
図書	52,388,304
電話加入権	214,363
<b>その他固定資産合計</b>	<b>54,191,768</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>758,648,176</b>
<b>資産合計</b>	<b>855,504,538</b>
<b>II 負債の部</b>	
1. 流動負債	
未払金	316,494
前受金	5,377,280
前受会費	11,230,556
預り金	1,381,618
<b>流動負債合計</b>	<b>18,305,948</b>
<b>負債合計</b>	<b>18,305,948</b>
<b>III 正味財産の部</b>	
1. 指定正味財産	
寄付金	4,917,782
<b>指定正味財産合計</b>	<b>4,917,782</b>
2. 一般正味財産	<b>832,280,808</b>
<b>正味財産合計</b>	<b>837,198,590</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>855,504,538</b>

## 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日 (単位:円)

科目	当年度
<b>I 一般正味財産増減の部</b>	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	14,154,305
基本財産受取利息	20,555
基本財産受取印税	14,133,750
②特定資産運用益	714,661
特定資産受取配当金	714,661
③受取会費	14,762,204
賛助会員受取会費	14,762,204
④事業収益	45,761,277
研修事業収益	3,630,930
施設事業収益	19,500
著作権使用収益	2,440,887
出版事業収益	38,102,190
取材・資料協力事業収益	1,567,770
⑤受取補助金等	9,466,987
受取民間助成金	9,424,128
受取民間助成金等振替額	42,859
⑥受取寄付金	30,059,863
一般寄付	28,888,407
指定寄付	976,261
図書寄贈額	195,195
⑦雑収益	321,346
受取利息	414
雑収益	320,932
<b>経常収益計</b>	<b>115,240,643</b>

科目	当年度
(2) 経常費用	
①事業費	<b>97,856,821</b>
役員報酬	5,532,800
給料手当	41,461,342
退職給付費用	1,471,894
法定福利費	7,418,811
福利厚生費	73,294
旅費交通費	229,589
通信運搬費	6,393,381
減価償却費	7,014,388
消耗品費	244,350
図書費	281,641
寄贈図書	1,113,541
修繕費	723,202
印刷製本費	15,074,739
光熱水量費	929,587
保守費	876,744
賃貸料	838,829
保険料	367,298
諸謝金	1,231,500
租税公課	2,876,370
支払手数料	544,558
諸会費	44,200
広告宣伝費	217,803
原稿料・印税	1,135,497
仕入費	947,062
委託費	646,581
雑費	167,820
②管理費	<b>6,813,698</b>
役員報酬	547,200
給料手当	3,060,684
退職給付費用	110,786
法定福利費	552,870
福利厚生費	9,294
渉外費	83,391
旅費交通費	2,106
通信運搬費	83,133
減価償却費	852,470
修繕費	25,425
印刷製本費	48,811
光熱水量費	210,573
保守費	97,416
賃貸料	255,556
保険料	72,932
諸謝金	203,500
租税公課	4,120
支払手数料	296,297
諸会費	112,270
委託費	161,644
雑費	23,220
<b>経常費用計</b>	<b>104,670,519</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	10,570,124
特定資産評価損益等	14,246,875
評価損益等計	14,246,875
当期経常増減額	24,816,999
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
新型コロナウイルス関連受取給付金等	2,353,250
<b>経常外収益計</b>	<b>2,353,250</b>
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	2,353,250
税引前当期一般正味財産増減額	27,170,249
法人税等	70,000
当期一般正味財産増減額	27,100,249
一般正味財産期首残高	805,180,559
一般正味財産期末残高	832,280,808
<b>II 指定正味財産増減の部</b>	
①受取補助金等	0
②受取寄付金	4,820,278
③一般正味財産への振替額	△ 1,019,120
民間助成金	△ 42,859
寄付金	△ 976,261
当期指定正味財産増減額	3,801,158
指定正味財産期首残高	1,116,624
指定正味財産期末残高	4,917,782
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>837,198,590</b>